



ENDURANCE

BIG-THROTTLE BODY KIT EF164-K26-A1

安全上の注意事項

ご使用になる前に必ずお読みください。

! 危険

：怠ると怪我・事故につながる要注意事項を示してあります。

! 注意

：怠ると部品の損傷などにつながる要注意事項を示してあります。

参考

：スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

! 警告

1. 商品の分解・加工・改造の禁止。

商品の機能が損なわれ、故障等により部品破損が原因で、転倒により怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

2. ガスケット・Oリングなど消耗品等は必ず新品に交換すること。

オイル漏れ等の原因になり、オイルに乗って転倒し怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

3. 組み立て時に指示指定以外の加工・改造は行わないこと。

破損の原因となり、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

4. 指定商品との組み合わせ以外での組み立ては行わないこと。

破損の原因となり、転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

5 各取り付けボルトおよびナットは、必ず走行前に締め付けの確認をしてください。

ボルトおよびナットの破損や緩みの原因となり、部品の脱落等によって怪我や死亡事故につながる恐れがあります。

6. エンジン始動の際は、排気の良い所で行うこと。

排気ガスにより一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

7. エンジンが完全に冷えてから作業をすること。

エンジン回転中や停止後はしばらくの間エンジン及びマフラーは高温になっています。

・近くにガソリンなどの危険物や可燃物を絶対に置かないこと。

火災の原因になります。

・絶対に人や動物等が触れない場所に止めること。

火災の原因になります。

! 注意

1. 作業の際は必ず水平な場所で車体を安定させること。 作業中、車体は倒れて怪我をする恐れがあります。

2. メンテナンスを頻繁に行うこと。 トラブルを未然に防ぐため、定期点検をおこなってください。

3. オイルの量をこまめにチェックをすること。 トラブルを未然に防ぐため、定期点検をおこなってください。

! 注意

慣らし運転中は、急発進・急加速などの重負荷の掛かる走行は行わないでください。

■慣らし運転終了後、エンジンオイルの交換と、異音等が無いことを確認します。

異音がでている場合は、再度エンジンを点検します。

参考

エンジンオイルは、本書指定 HONDA 純正オイルウルトラG1をご使用ください。

取り付けの際には、他のパーツとの干渉等を充分確認のうえ作業を行ってください。

※デザインおよび仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●適合車種・・・GROM

※上記以外の車種には絶対に使用しないでください。



ENDURANCE

BIG THROTTLE BODY KIT

取扱説明書

EF164-K26-A1

このたびは本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただきいつも手元に置いて正しい取扱方法により
永くご愛用くださるようにお願い申し上げます。

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読してください。
- 作業中は本書を手元の置き、指示に従って作業を進めてください。
- 本書は商品を廃棄するまで確実に保管してください。

ご使用の前に必ずお読みください。

- 本書は、取り付けにおける注意事項等を述べたものです。
本商品を取り付ける場合は、図を参考に作業をしてください。
- 本商品はレース用部品ですので一般公道での走行は絶対に行わないでください。
- 本書は、国家検定整備士資格を持った方を対象にしています。整備士資格をお持ちでない方は、
信頼のおけるお店に取り付けを依頼してください。
- 弊社の指定する部品以外を使用した場合、本来の性能を発揮することが難しくなります。
- 取り付ける前に本商品を洗浄油・パーツクリーナー等で洗浄してください。
- エンジンを取り外して作業を行う場合は、エンジンスタンドを使用してください。
- 本商品組み付け後、エンジンオイルは新品を注入してください。
エンジンオイルは、HONDA 純正オイルを使用してください。
- 使用燃料は、レギュラーガソリンです。（※ボアアップなどしている場合は異なります）
- オイル消費が多くなる傾向にありますので、走行前に必ずオイル量のチェック行ってください。
オイルが消費している場合には、必ず補給してから走行してください。
- 本商品は適合車種の専用商品です。他車種には取り付けることはできません。

●保証について

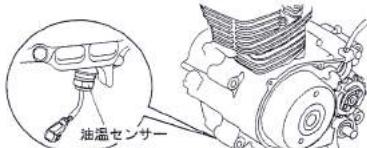
※本商品はレース専用部品になりますので、いかなる場合でも一切の保証はありませんのでご了承ください。

取り付けについて

以下に記載されている項目は、本商品取り付けにおける注意事項等を述べたものです。
図を参考に組み込んでください。本商品に含まれていない部品は、再度使用します。
再使用するパーツにキズ、ヘタリ、磨耗の劣化が著しい場合は新品と交換してください。

! 注意

エンジンを取り外して作業を行う時は、エンジンスタンドを使用してください。油温センサーがオイルパンに取り付けられた状態で、床に直接エンジンを置きますと、油温センサーが破損する恐れがあります。

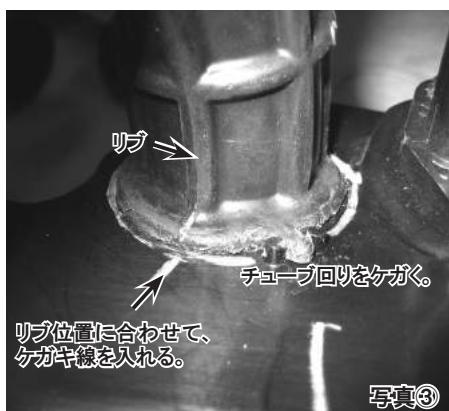


●分解の前に

■車両のサービスマニュアルを参照にしてエアクリーナーBOX、スロットルボディを取り外します。

●エアクリーナーBOXの加工

1. 写真①のようにエアクリーナーカバー、エアフィルターを外した状態のエアクリーナーBOXにします。
2. サブチューブ、コネクティングチューブ共に写真②、③を参考にしてカットするラインをケガキます。また、ダクトの位置出し用にそれぞれ、リブが立っている位置をケガいておきます。（写真②、③）
3. ケガきが終わったら、それぞれのチューブを取り外します。（写真④）このとき、コネクティングチューブを固定しているスクリュ、ワッシャ、ステーは使用しませんので、大切に保管しておいてください。



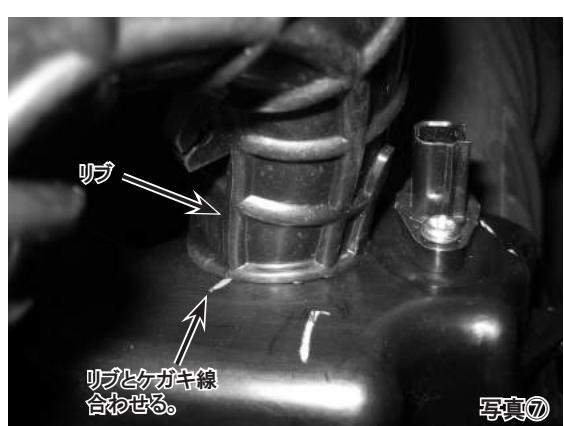
4. 先ほどケガいた線を参考にして穴を拡大します（写真⑤）

このとき、回り止め用突起部も一緒にカットします。

<参考寸法>

- ・コネクティングチューブ部：φ30.8 (STD) → φ 40に拡大
 - ・サブチューブ部：φ40.8 (STD) → φ 49に拡大
- ※拡大しすぎるとチューブが遊んでしまうので注意すること。

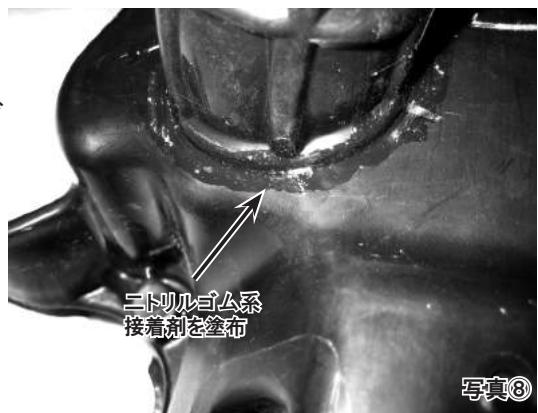
加工後にバリやダストは取り除いて、BOX内をきれいにしてください。



5. ビッグサブチューブ、ビッグコネクティングチューブを写真⑥、⑦を参考にして取り付けします。STDでケガいたリブ位置とそれぞれのチューブのリブが立っている位置を合わせます。

6. ビッグコネクティングチューブを取り付けした部分にSTDと同様にニトリルゴム系接着剤（セメダイン540）を塗布します（写真⑧）
→全周にまんべんなく塗布してください。

7. エアフィルターをエアクリーナーBOXに取り付けします。



●ビッグスロットルボディの取り付け

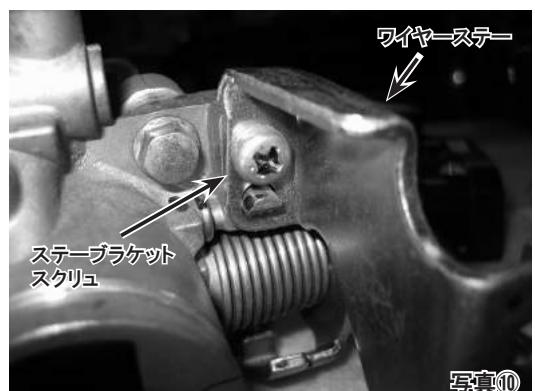
- 純正スロットルボディについているワイヤーステー、アイドリングスクリュー、ソレノイド、スロットル開度センサーを取り外します。(写真⑨、⑩)
→このとき、スプリングやOリングなど小部品がついているので落として無くさないように注意してください。また、Oリングは磨耗や損傷がある場合には新品に交換してください。
 - スロットルボディからインタークマニフォールドを取り外します。
→取り外したボルトは後ほど使用します。
 - STDから取り外した部品をビッグスロットルボディに取り付けていきます。
このとき、アイドリングスクリューは付属のものを使用して、スプリングのみ純正から取り外したものを使用します。
※規定トルク
トルクススクリュ、ステーブラケットスクリュ : 3.4 N・m
- <注意>
締付け過ぎると破損する恐れがありますので、必ず規定トルクで締付けてください。
- ビッグスロットルボディにインタークマニフォールドを取り付けます。
このとき、付属のOリングがきちんと溝部に収まっていることを確認してから、取り付けしてください。(写真⑫)
 - インジェクターをインタークマニフォールドの取り付け部に取り付けます。
このとき、シール(Oリング)は付属のものを使用してください。



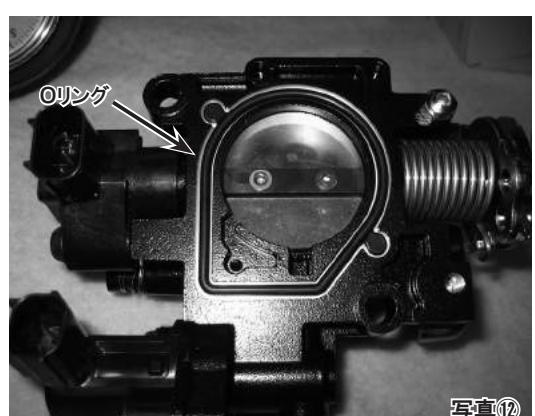
写真⑪



写真⑨



写真⑩



写真⑫

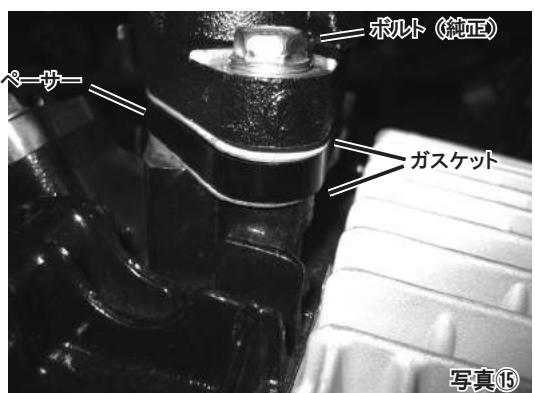
- 取り外した逆の手順でスロットルボディを取り付けます。
このとき、コネクティングチューブとスロットルボディの合わせ位置を確認してから、付属のバンドで固定します。(写真⑬、⑭)
- また、マニフォールドの取り付けの際には、ガスケットを挟むようにしてスペーサーを入れてから、ボルトで固定します。(写真⑮)
- 全てを取り付け終わったら、エンジン始動する前に以下の作業を行って下さい。(手順は車両のサービスマニュアルに記載しています。)
 - スロットル開度センサーのリセット
 - エンジンコントロールユニットの初期化



写真⑭



写真⑯



写真⑮

●各部の点検

■本商品を取り付けた後は、下記の項目に沿って点検を行ってください。

- ・各部の締め付け（ボルト、ナットの締め忘れがないか点検します。）
 - ・オイル漏れ、異音の有無と油圧（エンジン始動させ、異音がしないかオイル漏れがないか点検します。）
 - ・その他、走行するにあたりタイヤの空気圧、ブレーキの効き具合、ブレーキパットの磨耗、ブレーキオイルの漏れ、車体廻りのボルト、ナットの緩みがないか点検してください。

【燃料補正について】

■本商品を取り付ける際には必ず、付属のインジェクターに交換してください。車両に取り付ける部品（ボアアップ、マフラーなど）によって、別途、燃料補正が必要になる可能性があり、本来の性能を発揮することができなくなる恐れがありますので、必ずインジェクションコントローラなどで燃料補正を行ってください。

規定トルクについて

●標準規定トルク

- ・ 6mmフランジボルト、ナット：12 N・m
 - ・ 6mmボルト、ナット：10 N・m
 - ・ 8mmフランジボルト、ナット：27 N・m
 - ・ 8mmボルト、ナット：22 N・m

